

# 糖尿病と歯周病

## 歯周病って、どんな病気？

歯周病はプラーク（歯垢）、すなわち歯に付着した細菌による感染症です。



プラークは歯と歯ぐきにつくネバネバしたもので、放置しておくと歯を支える骨が溶け、最後に歯を失うことになります。



## 糖尿病と歯周病の関係

糖尿病の方は、歯周病にかかりやすく重症化しやすい！

糖尿病の方は唾液の分泌が少くなり、プラークが付きやすくなります。

また免疫機能が低下し、細菌に対する抵抗力が落ち、感染しやすくなるので、歯周病にかかりやすく、重症化しやすいのです。

## 歯周病にかかると…

血糖コントロールに悪影響を与える恐れや、インスリンが効きにくくなる場合も！

食べ物がうまく噛めなくなることにより、偏った食品しか摂取できなくなると、血糖コントロールに悪影響を与えることになります。

また、感染によりインスリンが効きにくくなり、糖尿病そのものにも悪い影響が出ると言われています。

## 歯を失うとどうなるの？



顔の形が  
かわります



食べ物がうまく  
噛めなくなります



言葉の発音が  
うまくできなくなります

## 注意するポイント！

歯の治療は、血糖コントロールに大きく影響することがありますので、注意が必要です。

日々のお手入れ、定期的な歯の健診で、予防を心がけましょう！

- 1 プラーケコントロールで歯周病を予防  
しましょう。

- 2 入れ歯をお使いの方は、細菌が繁殖しやすいので、  
入れ歯をいつも清潔にしましょう。



禁煙を心がけましょう。ニコチンは血流を悪くさせるので、糖尿病治療にも悪影響を及ぼします。



歯医者さんを受診する時は、糖尿病であることを必ず伝えましょう。歯の治療は、血糖コントロールに大きく影響することがあります。

抜歯の際は、必ず事前に主治医に相談しましょう。抜歯すると出血が止まりにくく、感染しやすくなります。  
また食事の摂取不足で低血糖になる場合もあります。



## ステップ ① ブラッシング

まず歯ブラシを使って、歯の表面のプラーケを全体的に取り除きましょう。大切なのは歯と歯ぐきの間のみぞなど、歯ブラシの届きにくいところを丁寧に磨くことです。



### ●ブラッシングのコツ

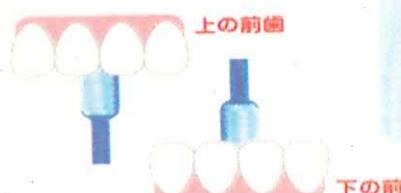


① 歯の側面は、ブラシの毛束の下端を垂直(90度)に当て、  
小さざみに30回ほど動かします。



② 歯と歯ぐきの境目は、  
ブラシの下端を45度の角度に当て、小さざみに30回ほど動かします。

③ 白歯の上面は、ブラシを当て、  
小さざみに動かします。



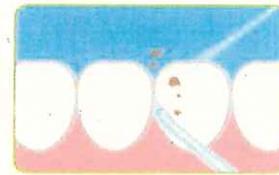
④ 上下の前歯の裏は、  
ブラシを立て、  
ブラシのつま先を使って磨きます。

### 歯ブラシを選ぶポイント

- ・小さめのヘッド
- ・衛生的なナイロン製
- ・やわらかめの毛先
- ・1~2カ月使ったら交換

## ステップ② フロッシング(歯間部清掃)

ブラッシングだけでは、歯と歯の間や、歯と歯ぐきの境目などのプラークの磨き残しが多く、歯周病やむし歯の原因になります。歯間部のプラークを取り除くために、フロッシングも併せて行いましょう。

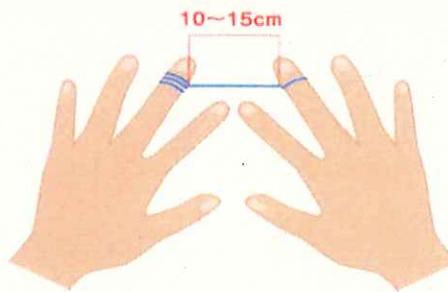


参考 <http://www.reach.jp>

### ●デンタルフロスの使い方

1 フロスを約40センチに切ります。

2 中指の間隔が  
10~15cmになるように  
片方の中指に2~3回、  
残りは別の中指に  
ゆるめに巻きつけます。



3 両手の人差し指で、指の間隔が  
1~1.5cmを目安にフロスの糸が  
びんとはるようにおさえます。



4 歯と歯の間に  
やさしくフロスを入れて、  
上下にしごいて  
プラークを取り除きます。



## オーラルセルフチェック

あなたはYesがいくつありますか？該当する項目があれば歯周病の可能性があります。すぐに歯科医を受診しましょう。

- グラグラ動く歯がある
- 歯を磨いたとき歯ぐきから血が出る
- 歯がしみる
- 歯ぐきが赤く腫れている
- 歯のすき間が広がってきた
- 歯ぐきが下がり、最近歯が長くなったような気がする
- 口臭があると言われる
- 食べ物が噛み切りにくくなってきた
- 朝起きたとき口の中がネバネバする
- 食べ物が歯の間によくはさまる
- 近親者が重度の歯周病である

	Yes	No
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自分の歯で  
おいしく食事するためにも  
より良い生活習慣を  
心がけよう

